

熊新二泉

1876年～1947年 中勝出身

経歴

- 戸口の小学校、名瀬の小学校に通い、高等小学校1年を修業
- 1890年 15歳、上京し郁文館中学入学
- 1894年 郁文館中学卒業 主席、鹿児島高等中学(造士館)予科、熊本第五高等学校を経て
- 1902年 東京帝国大学法科大学独法科を卒業 27歳 法学士(奄美で2番目)となる
- 1902年 京都帝国大学法科講師
司法官試補
- 1905年 東京区裁判所検事兼東京地方裁判所検事
- 1927年 刑事局長
- 1936年 検事総長
- 1939年 司法官最高位の大審院長(最高裁長官)
- 1941年 40年間の司法官生活を終えて定年退官
- 1942年 天皇の諮問機関である枢密院顧問官に親任される

●その他

- 1899年 大島郡青年会を創立
- 1908年 戦後21年までの38年間東京奄美会会長
「日本刑法論」出版
- 1911年 「刑法大要」出版
- 1919年 終戦までの36年間奄美奨学会理事長

●表彰

- 勲一等瑞宝章
勲一等旭日大綬章
正三位
2005年 龍郷町名誉町民

功績

京都帝国大学法科講師、司法官試補、東京区裁判所検事兼東京地方裁判所検事、刑事局長、検事総長、大審院長(最高裁長官)、枢密院顧問官を歴任する。

多年にわたり法曹界の要職にあり、激務のかたわら大島郡青年会を創立し、東京奄美会会長・奄美奨学会理事長を務めるなど郷土出身者の育成にも尽くされた。

